中国・四国地方

名前

問1　2015年度の統計において、東京との間の移動手段の利用割合を調査したところ、航空機が35.8パーセント、バスが5.0パーセントであるのに対し、鉄道が59.2パーセントと半数を超えている県があります。このデータが示す県として正しいものを次から選びなさい。（2018年 愛媛県公立入試 類似）

1. 岡山県
2. 沖縄県
3. 北海道
4. 福岡県

問2　香川県をはじめとする瀬戸内地方の地域では、山地に囲まれた地形の影響で年間の降水量が少なく、古くから干ばつの被害に悩まされてきました。このような気候条件のなかで、安定して稲作を行うために作られた「ため池」の役割について、最も適切な説明を選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）

1. 大規模な洪水が発生した際に、河川から溢れた水を受け止める
2. 雨の少ない時期に備えて、農業に必要な水を貯蔵する
3. 都市部で不足する生活用水を供給するための貯水池として活用する
4. 急峻な河川の流れを利用して、農業用の電力を発電する

問3　都道府県の統計において、面積が約1,877km2という全国最小の規模であり、果実の産出額が約8億円、製造品出荷額が2兆4,000億円を超えるといった特徴を持つ県について、その地理的説明として最も適切なものを選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 四国地方に位置し、県庁所在地である高松市を中心に都市機能や産業が集積している。
2. 近畿地方に位置し、県土の約6分の1を占める大きな湖を擁し、面積は約4,000km2である。
3. 中部地方に位置し、盆地の気候を利用した果実栽培が盛んで、産出額が全国トップクラスである。
4. 関東地方に位置し、広大な平野を活用した農業が盛んで、面積は約6,000km2に達する。

問4　高知県では、冬から春の時期に出荷量を増やすために、温暖な気候やビニールハウスを活用してなすの成長を早める工夫をしています。このように、自然条件や施設を利用して作物の出荷時期を本来の時期よりも早める農業形態を何と呼びますか。（2025年 三重県公立入試 類似）

1. 近郊農業
2. 抑制栽培
3. 適地適作
4. 促成栽培

問5　日本の諸都市の気候について述べた次の説明のうち、香川県高松市の統計データの特徴として最もよく合致するものはどれですか。（2026年 高知県公立入試 類似）

1. 1年を通じて気温が低く、夏でも月平均気温が20度を少し上回る程度であり、降水量は8月から9月にかけての台風シーズンに集中する。
2. 冬の時期に降水量が集中し、北西からの季節風の影響で毎日雪や雨が降るが、夏はフェーン現象の影響で気温が非常に高くなる。
3. 夏の降水量が非常に多く、梅雨や台風の影響で1ヶ月の降水量が500mmを超えることもあるが、冬は乾燥して晴天が続く。
4. 年間の合計降水量が1,100mm程度と全国的にも少なく、夏や冬の時期を含め、一年を通じて極端に降水量が増える月がほとんど見られない。

問6　香川県の讃岐平野において、地形図上に数多く点在していることが確認できる、農業用水を確保するために人工的に作られた池の名称を答えなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. ダム
2. 調整池
3. 用水路
4. ため池

問7　愛媛県の農業について、統計資料から読み取れる特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。なお、愛媛県の年間降水量は約1300mm程度、農業産出額の内訳は、果実が40.2%、野菜が16.4%、米が10.9%であるものとします。（2022年 佐賀県公立入試 類似）

1. 降水量が多いため、果実よりも米の栽培が適しており、米の産出額が農業全体の半分以上を占めている。
2. 降水量が少ないため、稲作よりも果実の栽培が適しており、果実の産出額が米の産出額の3倍以上になっている。
3. 温暖で雨が多いため、果実と野菜の両方の栽培が同程度に行われており、産出額もほぼ同じ割合である。
4. 降水量が少ないため農業には不向きであり、農業産出額の内訳において果実や米の占める割合は極めて低くなっている。

問8　瀬戸内工業地域に位置する広島県の工業について、製造品出荷額等の内訳を示した統計資料において、最も高い割合を占めている産業部門として正しいものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）

1. 金属工業
2. 機械工業
3. 化学工業
4. 食料品工業

問9　年間降水量が1100mm未満という少雨で、かつ冬でも温暖な瀬戸内地方の気候条件を活かして盛んに行われている農業の説明として、最も適切なものを選びなさい。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 豊富な日照時間と平坦な土地を活かし、スプリンクラーで大量の水を撒くことで大規模な稲作が行われている。
2. 水はけの良い傾斜地などを利用して、レモンやミカンなどの柑橘類の栽培が行われている。
3. 湿度の低さを利用して、病害虫に弱い品種のリンゴやサクランボの栽培が平地で広く行われている。
4. 冷涼な気候とわずかな降水量を活かして、キャベツやレタスなどの高原野菜の栽培が行われている。

問10　日本の都道府県別の統計において、レモンの収穫量が全国の約6割にあたる61.7%（2016年）を占め、日本一の産地となっている都道府県はどこですか。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 広島県
2. 岡山県
3. 愛媛県
4. 山口県

問11　中国・四国地方の各県の製造品出荷額の内訳を比較した統計において、山口県は岡山県や広島県といった近隣の県と比べて特定の業種の割合が非常に高く、県全体の出荷額の約3割を占めているという特徴があります。この山口県で特に盛んな、石油化学コンビナートなどが形成されている工業の名称として適切なものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）

1. 食料品工業
2. 化学工業
3. 鉄鋼業
4. 輸送用機械器具製造業

問12　香川県の地形図において、平野部に無数の小さな池が描かれている「讃岐平野」の地理的特徴について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。（2025年 茨城県公立入試 類似）

1. 筑後川の下流に位置し、干満の差を利用して農業用水を取り入れる「クリーク」と呼ばれる水路が発達している。
2. 木曽三川の合流点付近に位置し、洪水から集落を守るために周囲を堤防で囲った「輪中」が点在している。
3. 瀬戸内の気候に属し、降水量が少ないため、農業用水を確保するための「ため池」が発達している。
4. 信濃川などの大河川の河口に位置し、水はけの悪い低湿地を排水して作られた広大な穀倉地帯である。

問13　中国・四国地方の太平洋側（高知など）の気候統計では、7月から9月の降水量が約960mmと非常に多くなる傾向があります。このような降水量分布を生じさせる気象要因の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 冬の季節風、およびシベリア高気圧の影響
2. 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響
3. フェーン現象による乾燥した空気の影響
4. 対馬海流（暖流）と北西の季節風の影響